

未来プロジェクト：学生・新人発表会

近畿圏の学生および卒業後2、3年の若年者に対する学術活動を経験する機会の提供
および会員施設である医療機関と養成校の職員のコミュニティの醸成に関する取り組み。

未来プロジェクト：担当チーム
田中、橋本、森藤、山本、中嶋、竹内

開催概要

学術大会を模した発表会を、学生/新人のプレゼン機会に。

学生セッション



新人セッション



職場紹介



参加者の交流



在学生

発表する人も、聞く人も、
質問する人も、下級生も。
これまでにない経験を。



教員

就職、実習の活動につながる
社会人との接点強化。



新人実務者

学術大会への第一歩。
実務での工夫のアウトプットに挑
戦する機会。



社会人の先輩たち

学生や後輩の発表を聴講自体が刺激。
学生や教員との接点が人材確保の
フィールドに。

企画の狙い

会則第4条および第5条に資する取り組みの醸成

会則第4条 この会は前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

(4)会員の研究の便宜および親睦に関すること。

会則第5条 この会の会員は、主として近畿地区の病院、診療所などの医療施設及び日本病院会の診療情報管理士認定試験受験指定校をもって構成する。ただし、近畿以外の地区からの入会を拒むものではない。

会員の維持および未来の会員確保に向けた種まき

当会の会員数の維持、増加、退会の抑制は永遠の課題。

在学中から当会に関わってもらうことで、就職先が非会員であっても、将来的な入会を期待できる。

近畿地区の医療機関と学校の交流の増進

会員である医療機関の職員と学生や教員との接点を醸成することで、人材確保の青田刈りにつながる。

近畿地区の新社会人のベースアップに資する介入

卒業研究の実施のない養成校のカリキュラムに卒業研究の導入を期待。

学会などへの挑戦にハードルを感じている者が経験値を積める場になる。

企画にあたり

日ごろは診療情報管理士の養成・育成と、活動に関するご理解とご協力、またご支援を賜りありがとうございます。近畿病歴管理セミナー会長の上田です。大阪医科薬科大学では医療管理学を、大阪医科薬科大学病院では、診療情報管理室長およびQI管理室長として医療の質管理部門を担当し、医療安全からの視点を含め診療情報管理を通して医療の質を高めるために日々教育や指導を行っています。

診療情報管理士の活躍の場は、診療情報管理業務、医事業務、経営改善および医療の質改善に必要な統計資料の作成など多岐にわたっています。近畿厚生局等による医療安全の立入り検査や特定共同指導、病院機能評価受審の準備や対応、また、クリニカルパス作成・運用には、診療情報管理士が大きな役割を担っています。このように現場で活躍する管理士も、はじめは新人として割り当てられた仕事をして目標を一つずつ達成しながら知見を得て、経験豊富で頼りになる診療情報管理士となります。

今回、近畿病歴管理セミナーでは新たな企画として、診療情報管理士を目指す学生および卒業後3年程度の若手実務者を対象に、日頃の取り組みを発表する機会を設けました。この企画は、比較的若い管理士が中心となって計画しております。学生や新人の皆様におかれましては、将来の学会発表の練習や現役で活躍する診療情報管理士と交流する、良い機会になるのではと考えています。会員施設の皆様には、この機会に自施設の診療情報管理部門をPRし、養成校の学生さんと交流する場としてもご活用くだされば幸いです。

また近畿病歴管理セミナーは、診療情報管理学会の認定団体と認められており、当セミナーでの勉強会や研修会など受講すると、時間数に応じて単位を取得することが可能です。診療情報管理学会への参加は、敷居が高く遠方であれば、それだけで敬遠しがちとなりますが、今回のような取り組みを今後も続けて参りますので、養成校や若手の管理士の皆様にはこれからもご支援とご参加をよろしくお願いいたします。

将来の目指すべき管理士像が描けるような興味ある新しい企画をこれからも提案して参りますので、ぜひ参加くださるようお願いいたします。

近畿病歴管理セミナー会長 上田英一郎

会場写真



開催概要

- イベント名** 未来プロジェクト：学生・新人発表会
- 開催日** 2023年12月02日 13:30～17:00頃
- 開催会場** 新梅田研修センター
- 参加料** 無料
- 規模** 100名程度
- 参加対象**
- ▶聴講
会員施設の職員および在校生
 - ▶演者
【新人】本会の会員施設に勤務する診療情報管理士等で、第二新卒(卒後3年)程度の者。
【学生】近畿地方または本会の会員施設である診療情報管理士養成指定校に在学中の学生。
ただし、**初参加の施設の学生・職員は非会員施設も可。**